

2023年12月例会報告
1000の道 往時を偲び史跡をめぐる道

開催日	2023年12月6日(水)
集合場所	水郡線 常陸太田駅
集合時間	8時45分～9時00分
スタート時間	9時15分 (12時40分ゴール)
コース	常陸太田駅→梅津会館→若宮八幡宮→久昌寺→義久廟 →西山公園→西山荘→白馬寺→稲村神社→馬坂城址(昼食) →常陸太田駅
距離	14km
参加者	9名
天候	晴れ

ウォーキング状況

朝は雨模様でしたがスタート時には雨も止み、良いウォーキング日和でした。

今回は新日本歩く道紀行推進機構が地方創生を目的に選定された1000の道の一つ「往時を偲ぶ史跡をめぐる道」(常陸太田市)を少しアレンジしてコース作成を行っています。

綺麗に整備された常陸太田駅をスタートし木崎坂を登り鯨ヶ丘に到着。

公園内の盛り土は古墳跡かと思いましたが、鯨のモチーフでした。

何故ここに鯨? 私の推測ではこの台地は佐竹氏の居城が築かれた地で遠くから見ると、この高台が鯨に見えたからかな???

鯨ヶ丘へのアクセスにはいくつもの坂があり、特に南の「木崎坂」

「下井戸坂」東の「板谷坂」「塙坂」「東坂」西の「杉本坂」「十王坂」を太田七坂と言います。



鯨ヶ丘公園を過ぎ、旧城下町を進むと、若宮八幡宮に到着です。
山門入口の二本のケヤキの巨木に圧倒され、参拝後に横の階段を降り



光圀公の生母谷久子の菩提寺久昌寺へ、ここから馬坂城址まで紅葉を楽しみました。



九昌寺の登り坂付近



義久廟付近



西山公園



稲村神社

紅葉以外にも西山荘の裏山の山道、光圀公が散歩した道、往時をしのび歩きました。



本物でないけど水戸のご老公の杖

最後に馬坂城址（まごか）にて昼食後、常陸太田駅へ無事到着しました。

皆さん、ご苦労様でした。

最後に馬坂城について（現地案内板より）

平安時代の末期、新羅三郎義光（源義家の弟）の孫昌義は、久慈群佐竹郷に永住し、佐竹氏を名乗り馬坂城を築いた。

馬坂城は、台地の先端部の約6000m²の敷地を、三つの空堀で分断して曲輪を設けた平山城で、北を鶴が池、西南を山田川に囲まれた要害であった。

佐竹氏は、三代隆義が太田城（舞鶴城）に移り、その後の馬坂城には四代秀義の子義清が稲木氏を名乗って居住したり、十四代義俊の子義成が天神林氏を称して居住した時代もあったが、慶長7年の佐竹氏秋田国替えにともない廃城となった。



以上

記 松崎 寛